

NIIGATA DREAM CB750Four CLUB

がわらばん

VOL, 75

今年初のツーリングに行ってきたぞぉ～！

4月17日、桜の花もちらはら咲き始め、ようやくCB会も今年度の初ツーリングに行きました。コースは『ウィンディ』集合→栃尾の『道の駅』で休憩→長岡のラーメン屋『青島』にて昼食→刈羽村経由で海岸線ひた走り→道の駅『天領の里』にて休憩→間瀬サーキットで旧車会のイベントを冷やかし、に行こうと思ったけど、あまりに寒かったので急遽取り止め→とっとと帰宅、と相成りました。

参加者は山ちゃん、土谷さん、間さん、大久保、特別ゲストのCB400FOUR（間さん・大久保が勤務する会社の同僚で、ナイスな若者）の総勢5名。もう少し多ければと思ったが、丁度良いペースで走れたので良かったかな。



山ちゃんの提案で昼食は『青島』ラーメンの本店に行くことに。他の4人はそれなりの味に満足だったのに、山ちゃんだけ『味が落ちた。いつもはスープまで全部飲み干すのに、今日は残してしまった。もうダメだなあ』とボヤクボヤク。私的には充分美味しいと思ったのですが…。

とにかく寒いなの。去年の初ツーリングは桜満開、かつ丁度良い温度だったのに、今年は雨こそ降らなかったものの、日中ずっと曇りでした。早く春にならんかねえ～。



月例ツーリングの御案内で～す。

- 期 日・・・・・・・・5月5日（木曜日）
- 集合場所・・・・・・・・後ほど御連絡
- 集合時間・・・・・・・・後ほど御連絡
- 行き先・・・・・・・・それまでに決定します。

●定例のCBのみ参加OKのツーリングですが、今年は5月5日を予定しています。最初は5月8日にずらそうとしたのですが、会長が急遽国外追放、じゃなかった、仕事でその日に出国となる為、やはり暦通りが良いかなと判断しました。集合場所、時間は未定。追って事務局から連絡します。

月例ツーリング" No. 2" の御案内で~す。

- もう一発、5/29にもツーリング企画有り！

期 日・・・5月29日（日曜日）

集合場所・・・ウィンディー駐車場（国道49号線安田地内）

集合時間・・・後ほど御連絡

行き先・・・それまでに決定します。

会津若松の『さゆり公園（だったかな？）』に、旧車（←旧車会じゃないよ！）のフリマを見に行きませんか？

事務局通信

私事ですが‘88NSR250R を入手したので、ただいまレストアに取り掛かっています。レーサーレプリカなんてとんと縁が無いものと思っておりますが、ハチハチだけは別。こいつは歴代 NSR の中でもとびっきり過激な性格で、まさに公道を走れるレーサー。200km/h オーバー楽勝の怪物君です。8年間大切に放置（？）されていた代物なので、消耗部品を発注したのはいいけど、欠品の続出に驚きました。いくら絶版車とは言え、まだ 88 年式ですよ！（って、もう 17 年前ですね…）年々厳しくなる排ガス規制に合わせてでしょうが、どうも 2 ストは部品供給自体を中止されて根絶やしにされそうな勢いです。とりあえずは 2 ストだけでもしょうが、いつかは CB も含めて旧車全体に及ぶ危機感を感じています。我らが CB はいつまで乗れるのでしょうかねえ？

事務局 大久保・土谷でした。（編集後記は”大久保でした。”）

会長の独り言

ページのレイアウトをしていたら、こんなにページが余っちゃった。大久保さん、もうちょっとデータを増やして下さい。（なんちゃって。）

さてさて、このページにふさわしい（何でも良いからとりあえず埋めよう。ってか？）情報を御提供しましょう。

以前に、フィリピンで CB750Four を探そう！って事で、実は探し続けていたんですね。しかし、何処に行っても「えっ！？ 1969 年～ 1975 年のホンダ?? そんな古い物はもう無いよ。」ってあしらわれていたんですが、見つけちゃいました。場所はメトロ・マニラの空港の付近。ビッグバイクの専門店と言っていますが、どう見てもそんな風に見えない。内部にはゼファー 1100、V-MAX、ビラーゴ、CB750F ボルバル、CB400SF なんか置いてありました。が、いずれも怪しさいっぱい。コンクリートではない”土間”の床の所で、エンジンを組み上げていましたが、その状態は既にホコリまみれ。どう見てもオーバーホールするとは思えませんでした。

で、問題の CB750Four ですが、バラバラになった輸出用のエンジン 3 基を発見しちゃいました。エンジン番号から K 6 と F II でしたが、残念ながらビッグバルブとハイコンピピストンが組み込まれた物ではありませんでした。ドライブsprocket が取り付くドリブンシャフトを買うべく交渉したら、「45。」って言うから 450 ペソ（約 900 円）かと思い、「450 ペソで良いの？」と聞き返すと、「違う。4,500 ペソだ。」だって。新品と同じ値段だと文句を言うと、フィリピンにはもう無いから高いんだそうです。組み上げたエンジン 1 基 40 万円との事。そんな価格で売れる訳がない。日本だったら中古エンジンは 5 万円だ。オマケにコンプリートの中古車でも 30 万円で沢山ある。と笑い飛ばして言うと、顔色を変えて怒り出しました。これ以上の長居は命の危険を感じたため、さっさとしっぽを巻いて逃げ帰ったという訳です。ホントは写真を撮りたかったんだけど、我が命を優先しました。 片桐